

S o n d e k C D 1 2

製品を安全にご使用いただくために

本書および製品上に使われているマーク：



感電を引き起こす強い電圧が、絶縁されない状態で内部に存在することを示します。十分な注意が必要です。



保守・サービス上の重要な情報が、使用説明書やサービスマニュアルに記載されていることを示します。

注意

感電の恐れがあるので、絶対にカバーを外さないでください。内部の全部品とも、ユーザーが修理を行うことはできません。修理は、専門家に一任してください。
警告：感電危険。絶対開けないでください。
注意：ヒューズを交換する際は、同タイプ同定格のものを使用してください。
ヒューズ交換の前に、必ず電源コードを外してください。

警告

火災や感電の危険があるため、本製品を雨や湿気に当てないでください。

電源用プラグ

本製品には、各国に適した電源プラグが付いています。ユーザーによる配線変更はできません。
交換用の電源コードは、取扱い代理店でお求めください。
プラグの交換が必要な場合は、適切に廃棄してください。
電源が入った状態では、プラグの露出した導体は非常に危険です。
茶色のワイヤは、Liveピンに接続します。
青いワイヤは、Neutralピンに接続します。
緑／黄色のワイヤは、Earthピンに接続します。
少しでも疑問があれば、取扱い代理店または電気技術者にご相談ください。

安全上の注意事項一般

1. 製品のご使用前に、必ず安全上の注意および取扱い説明書を熟読してください。
2. 安全上の注意や取扱い方法を記した説明書は、大切に保管してください。
3. 取扱い説明書や製品上の「警告」に注意を払い、必ず守ってください。
4. 使用上の指示をよく守ってください。

5. 浴室／洗面所／台所流し／洗濯槽／プールサイドなど、水の近くで製品を使用しないでください。湿気の多い地下室なども同様です。
6. 必ずメーカー指定のラックやスタンドをご使用ください。
- 6a. 製品とラックの組み合わせには十分な注意を払ってください。急に停止したり、過度な力をかけたり、表面が平らでなかったりすると、製品がラックごと倒れる恐れがあります。
7. 壁／天井に取付ける場合は、必ずメーカーの指示する方法に従ってください。
8. 製品の設置については、適当な換気が可能な位置を選んでください。換気口を塞ぐような場所（ベッド／ソファ／敷物などの上）や、換気口を通る空気の流れを妨げるような閉塞した場所（本棚やキャビネットなどの中）に置くのは不適当です。
9. 製品は、熱源（ラジエーター／ヒーター／ストーブ、アンプも含む）から離して設置してください。
10. 電源には、取扱い説明書や製品自体に記載してあるタイプのものを使用してください。
11. 分極型／アース型プラグは安全にご使用ください。分極型プラグには2つのブレードがあり、一方は他方より幅広です。アース型プラグには2つのブレードのほかにはアースブロンクが付いています。幅広のブレードやアース端子は、ユーザーの安全を守るためのものです。付属のプラグがご使用のアウトレットに合わない場合、電気技術者にご相談の上、付属の設置アダプターをご使用ください。
12. 電源コードは、踏まれたり、近くのものによって引っ張られたりしないように配置してください。特にプラグ、電源ソケットとの接続点、製品からコードが出てくる点に十分な注意が必要です。
13. 安全上の観点から、製品には過負荷に対する保護プラグが付属しています。プラグのリセットや交換についてはマニュアルを参照してください。交換が必要な場合は、必ずもとのプラグと同じ過負荷保護機能のあるものを使用してください。
14. 製品のクリーニングは、必ずメーカー指定の方法で行ってください。
15. 屋外アンテナは、電線に向けて設置しないでください。
16. チューナー／レシーバーに屋外アンテナを接続する場合、アンテナに必ずアースを取り付け、サージ電圧と静電気蓄積に備えてください。
米国内では、設置条件について、National Electrical Code ANSI/NFPA 70の第810項を参照してください。
17. 雷雨時、また長期にわたって製品を使わない場合は、電源からプラグを抜いてください。
18. 製品内部に液体や異物が入らないようご注意ください。
19. 以下のような場合、専門家による修理が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき。

- b) 製品内部に、異物や液体が入ったとき。
 - c) 製品が雨にさらされたとき。
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また以前とまるで異なる作動をするとき。
 - e) 製品を落したとき、またケースが破損したとき。
20. 取扱説明書の記載を超えた修理はなさないでください。説明書にない修理やサービスは、専門家に依頼してください。

英国国内ユーザーのための安全事項

ヒューズ交換

本製品には13アンペアの電源プラグが付属しており、その配線変更はできません。

同プラグには5アンペアのヒューズが付いています。ヒューズがとんだ場合は、次のように交換することができます。

- a) 赤いヒューズカバー／キャリアを引き出します。
- b) 切れたヒューズを外して廃棄してください。
- c) 新しいヒューズ (5アンペア、BS1362 準拠) をキャリアに取り付け、キャリアをプラグ内にはめ込みます。

必ずヒューズカバーを取り付けてください。ヒューズカバーのないプラグは使用しないでください。ヒューズカバーは取扱代理店からお求めください。ヒューズは火災予防のためのもので、感電を防止するものではありません。

電源プラグの交換

電源プラグの交換が必要になり、ご自分で交換が可能な場合は、下記に従ってください。難しそうだと思えば、取扱代理店または電気技術者に依頼してください。

- a) 電源からプラグを抜きます。
- b) プラグを切り取り、安全に廃棄します。電源が入った状態では、プラグの露出した導体は非常に危険です。
- c) 必ず、5アンペアのヒューズを備えた13アンペアのプラグ (BS1363A 準拠) を取り付けてください。
- d) 信頼できる品質のプラグなら、ワイヤの色別または文字が接続点に記されているはずで

各々のポイントにワイヤを固定します。茶色のワイヤはLiveピンに、青いワイヤはNeutralピンに、緑／黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

- e) プラグトップを取り付ける前に、ケーブル留め部分がケーブルの外側シースをしっかりと固定しており、ワイヤが適切に接続されていることを確かめてください。

警告

本製品には必ずアースを取り付けてください。

ヒューズの交換

ヒューズが切れた場合には、その部分だけを交換してください。ヒューズホルダーは、電源からの入力ソケットのすぐ下にあります。ヒューズ交換の際には、製品の電源コードを外してください。マイナスドライバーを使って、古いヒューズを取り外し、新しいものを入れます。ヒューズが再び切れるようなら、製品自体に問題があると考えられます。最寄りの代理店にご連絡ください。

ヒューズ定格:「仕様」の項を参照してください。

電源電圧の作動範囲:「仕様」の項を参照してください。

警告!! 115V用ユニットを230Vに接続すると、電源装置が破壊される場合があります。

CE 準拠の宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が「低電圧に関する指令 73/23/EEC」および「電磁互換性 89/336/EEC」(92/31/EEC および 93/68/EEC により改訂) に準拠することを宣言します。

本製品が73/23/EEC 指令の規定に準拠している旨は、下記の各基準に完全に一致することにより証明されます。

基準番号	発行年	試験タイプ
EN60065	1993	一般要項 マーキング イオン化 通常条件での発熱 通常作動条件での感電危険性 絶縁条件 誤作動条件 機械的強度 電源接続の部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続部と機械的固定器具

本製品が89/336/EEC (EMC) 指令の規定に準拠している旨は、下記の各基準に完全に一致することにより証明されます。

基準番号	発行年	試験タイプ
EN55013	1994	伝導放出
EN55013	1994	放出吸収
EN60555-2	1987	調波
EN60555-3	1987	電圧変動
EN55020	1994	イミュニティ

FCC 通告

注記：本機器は試験の結果、FCC 規則第15部に従い、B級デジタル装置の制限を遵守していることが明らかになりました。前記の制限は、住宅内への設置における有害な干渉波に対して適切な保護を設ける目的で定められたものです。本機器はRFエネルギーを発生・使用し、またそれを放射することがあり、指示に従って設置されない場合は、無線を妨害する可能性があります。しかし、特定の設置条件について、妨害を起さないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信に悪影響を及ぼすことがある場合 (本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで確認できます)、下記の方法を (組み合わせて) お試しください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機器とラジオ／テレビの距離を離す。
- 本機器をラジオ／テレビの電源とは回路の異なる電源に接続する。
- 代理店または経験あるラジオ／テレビ技術者に相談する。

版權と商標

Copyright © Linn Products Limited

Linn Products Limited, Floors Road, Waterfoot, Glasgow, G76 0EP,
Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なく、本書のいかなる部分も、電子的、機械的、複写装置使用、記録など、いかなるかたちにおいても、また手段のいかんを問わず、複製、保存、転送することはできません。

Printed in United Kingdom

SONDEKは、Linn Products Limitedの商標です。

HDCCDおよびHigh Definition Compatible Digitalは、Pacific Microsonics Inc.の登録商標 (特許No. 5,479168) です。

STは、AT&Tの登録商標です。

TOSLINKは、Toshiba Corporationの商標です。

本書記載事項は情報提供のみを目的としたもので、通告なく変更されることがあります。また本書記載内容をリン・プロダクツ・リミテッドが公式に保証することはありません。本書の記載が不正確であったり、記載に誤りがあったとしても、弊社では一切の責任を負いません。

部品番号：PACK 194/J

本書は、英国ケンブリッジのHuman-Computer Interface Ltdによって製作されました。

目 次

はじめに	2	SONDEK CD12のプログラミング	16
リン・プロダクツ社の製品哲学	2	CDのプログラミング	16
		トラック・セレクションの	
		プログラミング (Add)	17
SONDEK CD12の使いかた	4	トラックの除外 (Del)	19
スイッチON	4	ランダムプレイ (Rand)	20
CD演奏	4	プログラムのリピート	20
トラックの選択	6	プログラムのON/OFF	21
		プログラムの編集.....	22
SONDEK CD12とLinn HiFiリモート			
コントロール	7	ユーザー・オプション	24
スイッチON	7	ユーザー・オプションの定義.....	26
CD演奏	8		
CDの演奏/ポーズ/停止	9	技術仕様	29
ディスプレイの選択	10		
トラックを指定しての演奏	11	索引	32
CD内のサーチ	12		
CD上の正確なタイムポジション選択	13		
CD全体および特定部分のリピート演奏	14		

はじめに

リン・プロダクツ社の製品哲学

SONDEKの伝統

リン社が12インチLPのための精巧なターンテーブルLinn SONDEK LP12を開発したのは25年前のことです。LP12の設計哲学は、最高のサウンドを達成するのに直接役立たないものは一切付けない、というものでした。それぞれのコンポーネントは、最高のスペック通りに機能を果たすよう、ていねいに設計製作されました。その方針が実って、リン社のハイファイは皆様からの厚い信頼を獲得し、すべてのターンテーブルの性能を判断する基準と認めteいただくに至ったのです。

SONDEK CD12

最初のLinn SONDEK LP12の発売から25年たった現在、弊社は同一の哲学のもとに、究極のCDプレイヤーの創造に挑みました。こうして完成したのがSONDEK CD12です。各コンポーネントはいかなる妥協もなしに最高の性能を達成すべく設計され、サウンドクオリティに直接貢献しない機能はすべて排除されました。

SONDEK CD12においては、ユニット内のデータ検索システムが最適レベルで作動するよう、大胆かつ強力なエンジニアリングが駆使されました。Linn CDエンジンに使われる電子サブシステムは、各自が完全に分離独立しているため、オーディオ性能上のロスはいかなるものであれ最初から排除してまいります。

SONDEK CD12に広く採用された先進的なデジタル回路技術が、高度の音楽再生に欠かせない超高精度のタイミング能力を維持します。

また SONDEK CD12 のリプレイ・チェーンには、CD からの高いダイナミックレンジを忠実に再現できるよう、最新の注意をもってアナログ・オーディオステージが組み込まれています。

タッチコントロール

CD12 に可能な限りのエレガントな外観を与えるため、フロントパネルのコントロールボタン類は完全に一掃されました。CD の出し入れ、演奏、停止など基本的な操作は、すべてディスプレイドローを軽く押すだけで行われます。

CD から好きなトラックだけを選びたいとき、あるいは特定の組合わせをプログラムしたいときには、SONDEK CD12 付属の Linn HiFi リモートコントロールを利用すれば、自由な組合わせのオプションが可能になります。

特定の CD について、ご自分でセレクトしたトラックの組合わせをいったんプログラムすると、その後同じ CD をセットしたときに SONDEK CD12 が自動的にそれを認識し、あなたのオリジナル・セレクションを演奏します。SONDEK CD12 はこのようにして最高 CD50 枚分の情報を記憶します。この機能によって、これまで不可能だったパーソナルなミュージック・コレクションが実現します。

デジタル出力

Linn SONDEK CD12 にのバックパネルにはデジタル出力が装備されています。初期設定の状態ではこれは OFF となっていますが、**0** のキーを押し続けるとスイッチが入ります。出力を ON とすると、フロントパネルの **DIGITAL** インジケーターが点灯します。

SONDEK CD12の使いかた

この章では、SONDEK CD12 フロントパネルのタッチコントロールを使って CD を演奏する方法が説明されています。Linn HiFi リモートコントロールを使用する場合の指示は、7 ページの「SONDEK CD12 と Linn HiFi リモートコントロール」の項をご参照ください。

スイッチ ON

CD プレイヤーの電源の入れかた

- バックパネルのスイッチで、CD プレイヤーを ON にします。

ディスプレイは右図のようになります。

The display shows the text "Cd 12" in green on a black background.

次に、CD が挿入されていないことを示す表示に変わります。

The display shows the text "noCd" in green on a black background.

その後すぐ、ディスプレイは右のようになります。

The display shows three dashes "---" in green on a black background.

CD 演奏

CD のセット

- ドロワーを静かに押すと、インターロックのクリック音が聞えます。

ディスプレイは図のように変わります。

The display shows the text "OPEN" in green on a black background.

- 手を離すとドロワーが開きます。
- ラベル側を上にして CD をドロワーに入れます。



ドロワーの閉じかた

- ドロワー前面を静かに押します。

ディスプレイにはごく短い間、右のような表示が出ます。



CDの演奏がスタートします。

ディスプレイは、最初のトラック番号とインデックスを表示します。



トラックがHDCD処理されていれば、**HDCD**インジケーターが点灯します。

CDをセットした直後に演奏しない場合は、オートプレイ機能をOFFにしてください。24ページの「ユーザー・オプション」をご参照ください。

演奏を途中で止めるとき

- ドロワーを軽く押します。

ディスプレイは、CDのトラック数を示します。



- もう一度ドロワーを押すと、演奏が再開されます。

CDの取出しかた

- ドロワーを押し続けると、インターロックのクリック音が聞えます。

この操作は、演奏中かどうかにかかわらず行えます。

ドロワーが開き、CDを取出すことができます。

- もう一度押すと、ドロワーが閉じます。

ドロワーは2分以上開けておくと、CDにほこりが付着するのを防ぐため、自動的に閉じるよう設計されています。

トラックの選択

ドロワーを押すことによってトラックが選択できるようにCD12をセットアップすることができます。24ページの「ユーザー・オプション」を参照してください。その場合、次のような操作ができます。

CD演奏とトラックの選択

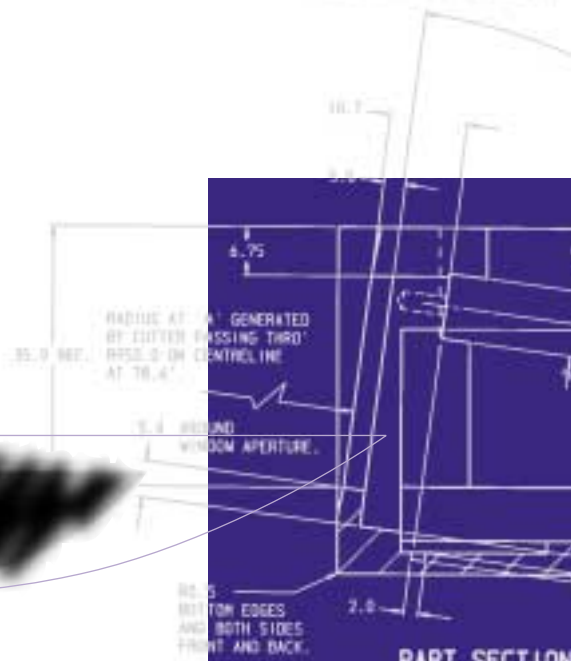
- ドロワーを短く押して、演奏を開始します。
- 再度ドロワーを押すと、次のトラックはとばして演奏されます。
- ドロワーを押し続けると演奏が止まります。

CDの取出しかた

CDが停止したら、

- インターロックがクリックするまで、ドロワーを押し続けます。

ディスプレイは右図のようになります。



NO.	DESCRIPTION
F	Ø 5.0 BOSS, DRILLED Ø 2.5 X 8.0.
G	Ø 7.1 BOSS, DRILLED Ø 3.5 X 12.0.
H	Ø 4.1 HOLE, 10.0 DEEP COK 90° X 0.5.
I	SEE SECTION C-C.
J	Ø 2.5 HOLE X 8.0, COK 40° X 0.5, T
K	Ø 2.5 HOLE X 8.0, COK 40° X 0.5.

Linn HiFi リモートコントロール

この章では、SONDEK CD12において、
Linn HiFi リモートコントロールを最大限に活用する方法が説明されています。

HiFi リモートコントロールは、ご使用システム中の他のリン製品の操作にもお使いいただけます。また他のハンドセットのコマンドを識別するようプログラムすることが可能なので、TVやビデオなど他の機器のコントロールに利用することもできます。HiFi リモートコントロールを他の機器に用いる方法については、Linn HiFi リモートコントロールのオーナーズ・マニュアルをご覧ください。

スイッチ ON

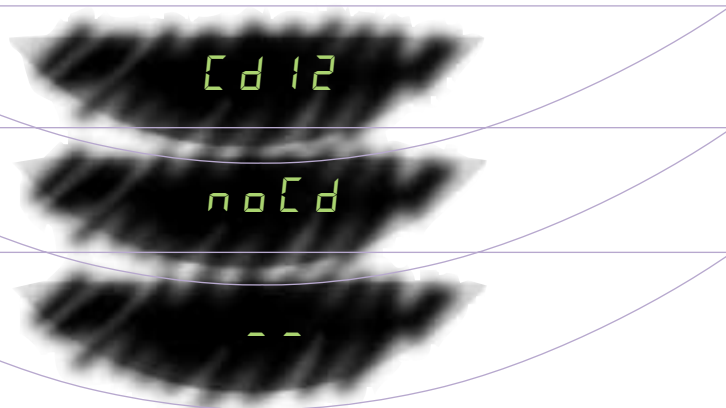
CD プレイヤーの電源の入れかた

- バックパネルのスイッチで、CD プレイヤーを ON にします。

ディスプレイは右図のようになります。

次に、CD が挿入されていないことを示す表示に変わります。

その後すぐに、ディスプレイは図のようになります。



CD 演奏

CDのセット

- **OPEN** を押します。

ディスプレイは右のように変わります。



- ラベル側を上にしてCDをドロワーに入れます。

ドロワーを閉じ、CD 演奏を開始

- **OPEN** または **PLAY** を押します。

ディスプレイは図のようになります。



ドロワーが閉じて、CD 演奏がスタートします。

CDをセットした直後に演奏しない場合は、オートプレイ機能をOFFにしてください。24ページの「ユーザー・オプション」をご参照ください。

CD 演奏を開始せずにドロワーを閉じる方法

- **STOP** または **PAUSE** を押します。

STOP を押すと、ディスプレイには短い間、CDのトータル演奏時間が表示されます。



ディスプレイ表示例：

その後、CDのトラック数が表示されます。



CDの取出しかた

- **OPEN**を押します。

ディスプレイの表示は図のようになります。

この操作は、演奏中かどうかに拘わらず行えます。

ドロワーが開き、CDを取出すことができます。

- 再度 **OPEN**を押すと、ドロワーが閉じます。



ドロワーは2分以上開けておくと、CDにほこりが付着するのを防ぐため、自動的に閉じるよう設計されています。

CDの演奏／ポーズ／停止

CDの演奏開始

- **PLAY**を押します。

図のように、ディスプレイは演奏中のトラック番号とインデックスを示します。

トラックがHDCD処理されていれば、**HDCD**インジケーターが点灯します。



CDのポーズ

- **PAUSE**を押します。

ディスプレイには **PAUSE** インジケーターが表示されます。



CDプレイヤーを5分以上ポーズ状態にすると、レーザーの寿命を守るためにCDは演奏を止め、ディスプレイのPAUSEインジケーターが点滅します。PLAYを押すと、最後に中止した位置から、演奏が再開されます。

演奏を続行する場合

- **PLAY**を押します。

CD演奏の止めかた

- **STOP** を押します。

ディスプレイには、図のように、CDのトラックのトータル数が表示されます。



ディスプレイの選択

ディスプレイの表示内容を選択する方法

- **DISPLAY** を押します。

CD演奏中、次のオプションが順に表示されます。

オプション	内容	表示例
-------	----	-----

TRACK	トラックおよびインデックス番号
-------	-----------------

TRACK TIME	演奏中のトラックの開始からの時間
------------	------------------

REMAIN TRACK TIME	演奏中のトラックの残り時間
-------------------	---------------

TOTAL TIME	CD演奏開始からの時間
------------	-------------

TOTAL REMAIN TIME	CDの残り時間
-------------------	---------

CD停止中は、TRACKとTOTAL TIMEを交互に表示することができます。他のオプションを選択しても、何も表示されません。

トラックを指定しての演奏

1トラックずつ動かす場合

- **▶▶** または **◀◀** を押して、前後のトラックに移動します。キーを押し続ければよりスピーディーに移動します。

ディスプレイは図のように、現在のトラックを示します。



CD 停止中にトラックを選択すると、自動的にそのトラックの演奏が始まります。

トラック番号を選ぶ場合

HIFIリモートコントロールの番号キーを押せば、目的のトラックを直接選択することができます。

例：1～9番の間のトラックを選ぶ場合

- その数字を示すキーを押します。

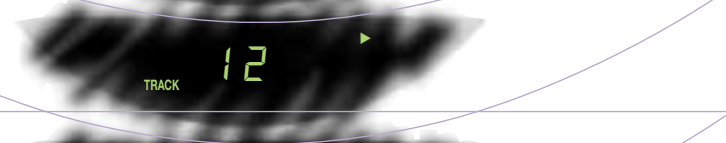
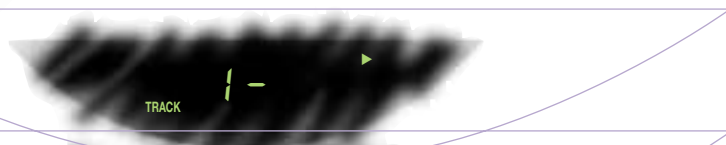
番号が2桁の場合

- まず、10の桁の数字を押します。

ディスプレイは図のようになります。

- それから1の桁の数字を押します。

存在しないトラック番号を押すと（図は25と入れた場合）、選択は無効とされ、**E**の文字が短く表示されます。



CD内のサーチ

SONDEK CD12においては、CD上の正確なポジションを秒単位で選ぶことができるので、特定のキューポイントを選んだり、曲の中の特定の部分を探したりするのに非常に便利です。

前後に移動してサーチする場合

- ▶▶または◀◀を押します。

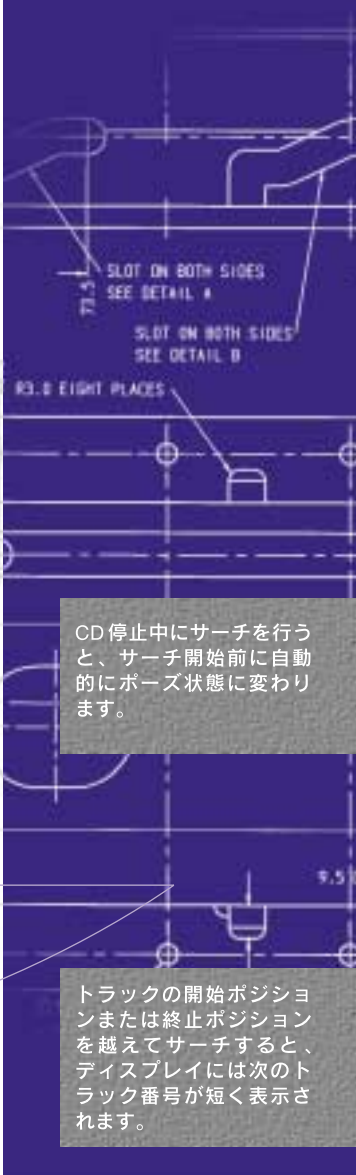
1押しするごとに、1秒ずつ移動します。CDをポーズ状態にして、特定のポジションを探すのに便利です。

またボタンを押し続ければ、サーチ速度が徐々に速まります。CDがポーズ状態なら、サーチ速度はノーマル速度の約100倍(1秒につきノーマル演奏の1.5分間分)となります。CD演奏時ならノーマル速度の約20倍となり、サーチ中も音が聞けます。

サーチ開始前にトラック番号を表示させていれば、ディスプレイは自動的にトラックタイムを表示します。

トラックタイム表示例：

それ以外の場合は、選択されたタイム表示が、サーチが進むにつれて新しいCDポジションを示します。



CD停止中にサーチを行うと、サーチ開始前に自動的にポーズ状態に変わります。

トラックの開始ポジションまたは終止ポジションを越えてサーチすると、ディスプレイには次のトラック番号が短く表示されます。

CD上の正確なタイムポジション選択

HiFiリモートコントロールの番号キーを使ってCD上の正確なタイムポジションを選べるように、CD12をセットアップすることができます。24ページの「ユーザー・オプション」をご参照ください。

タイムポジションの入力

- **TRACK TIME**のように、目的に合ったディスプレイを選びます。
- 「分」の10の桁の数字を押します。ディスプレイは図のように、これから入れるべき数字のところに「-」を表示します。
- 「分」の1の桁の数字、続いて「秒」の数字を押します。



誤って入力した場合

入力途中なら、

- ◀◀を押すと、最後に入れた数字がクリアされます。

無効なタイムを入力すると、それに最も近い有効タイムに変更されます。

CD全体および特定部分のリPEAT演奏

SONDEK CD12では、CD全体や、指定したセクションを繰返し演奏することが可能です。

途中でCDを停止させてもリPEAT演奏の指示は記憶され、再び再生すれば、同じセクションがリPEATされます。

CDを取出すと、リPEAT演奏指示はメモリから削除されます。

CD全体のリPEAT演奏

CDが止まった状態から：

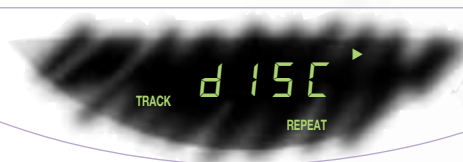
- **REPEAT** を押します。

CDは自動的にリPEAT演奏に入り、**REPEAT** インジケーターが点灯します。

CD演奏中またはポーズ状態から：

- ディスプレイが図のようなまで、**REPEAT** を押し続けます。

このディスプレイが変わるまでに数秒かかります。そして**REPEAT** インジケーターが点灯します。



CD上の特定セクションのリPEAT演奏（「A-BリPEAT」）

ポーズ中または演奏中の状態からも、リPEATしたいセクションを選ぶことができます。

- **▶▶** と **◀◀**、または **▶▶▶** と **◀◀◀** のキーを使って、リPEAT演奏したい部分の最初の位置を選びます。
- **REPEAT** を短く押して、リPEAT開始位置をセットします。

A-Bインジケーターが点滅します。

- 次に▶▶と◀◀、または▶▶と◀◀のキーを使って、リピート演奏の終了位置を選びます。

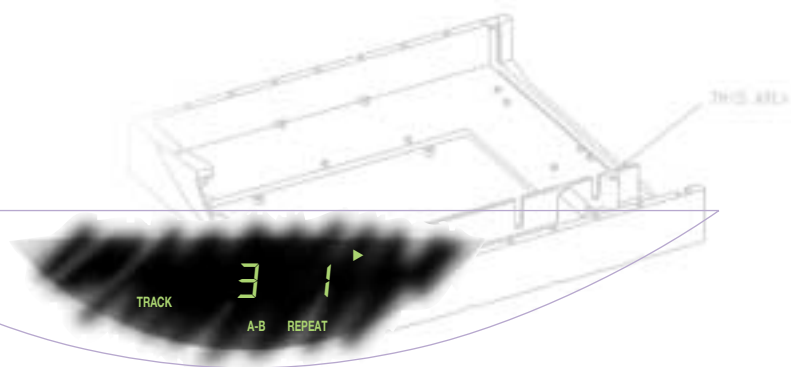
- **REPEAT** を短く押して、リピート終了位置をセットします。

A-Bインジケーターが点灯します。

指定部分が繰り返し演奏されます。

リピートモードのキャンセル

- **REPEAT** をもう一度押します。



SONDEK CD12 のプログラミング

この章は、SONDEK CD12の高度な能力を駆使して、お手持ちの各CDについてプログラムを保存する方法を解説する上級篇です。CD中の指定トラックだけを指定した順序で演奏したり、特定のトラックをとばして演奏したりすることが可能になります。

1枚のCDをいったんプログラムすると、SONDEK CD12はそれを記憶し、次に同じCDをかけたときにそのプログラムを選び出します。このようにして、最近演奏したCD50枚分まで、プログラムされたオリジナル・セレクションが認識されます。

CDのプログラミング

初めてCDプログラミングをする場合、次のようなオプションがあります。

オプション 内容

Add	指定された順序で、トラックのリピートを含め、連続してトラックを演奏する。
Del	通常の演奏シークエンスからトラックを除外する。
Rand	トラックを順不同で演奏する。

各モードについて、以下に詳しく説明します。

プログラムの作成中、編集中に、**PLAY** / **PAUSE** / **STOP**のいずれかを押すと、内容を変更することなく、作業を終了することができます。

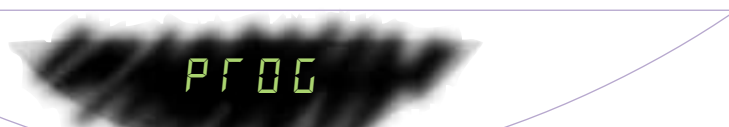
CDについていったん指定演奏トラックをプログラムすると、後日そのCDをセットした際、自動的にそのプログラム演奏が行われます。この機能をキャンセルして、指定した場合にだけプログラム演奏をさせることも可能です。24ページの「ユーザー・オプション」をご参照ください。

トラック・セレクションのプログラミング (Add)

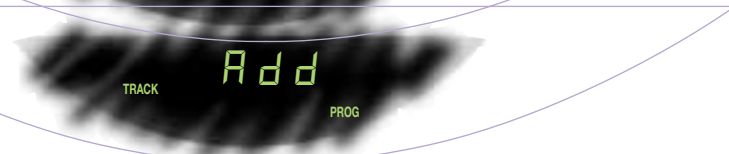
このプログラムモードでは、指定のトラックの組合わせを指定の順序に演奏できるようにすることができます。

Add プログラムの作成

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。

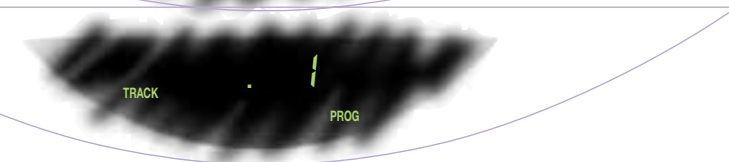


- ディスプレイが右のようになるまで、**INDEX** ▶ または ◀ を押します。



- **DISPLAY** を押します。

ディスプレイは、最初のプログラムステップを示します。



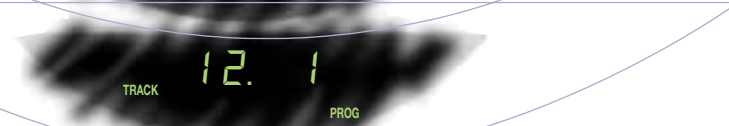
- ▶▶ または ◀◀ キーで、最初に演奏するトラックを選びます。数字キーで直接トラック番号を入力することもできます。

もし、トラック12を指定したければ、

- 番号**1**のキーを押し続け、右のようなディスプレイを出します。



- 番号**2**のキーを押すと、ディスプレイは図のようになります。



- **INDEX** ▶ を押して、次のプログラムステップに移ります。



- 同様にして、残りのトラックを指定します。

ステップの編集

- **INDEX** ▶ または ◀ で、編集 (変更) したいプログラムステップを選びます。
- 新しく指定するトラック番号を入力します。

プログラムステップの削除

- **INDEX** ▶ または ◀ で、消したいプログラムステップを選びます。
- **0** を短く押すと、そのステップが削除されます。

ディスプレイは右のようになります。



新しいプログラムステップの挿入

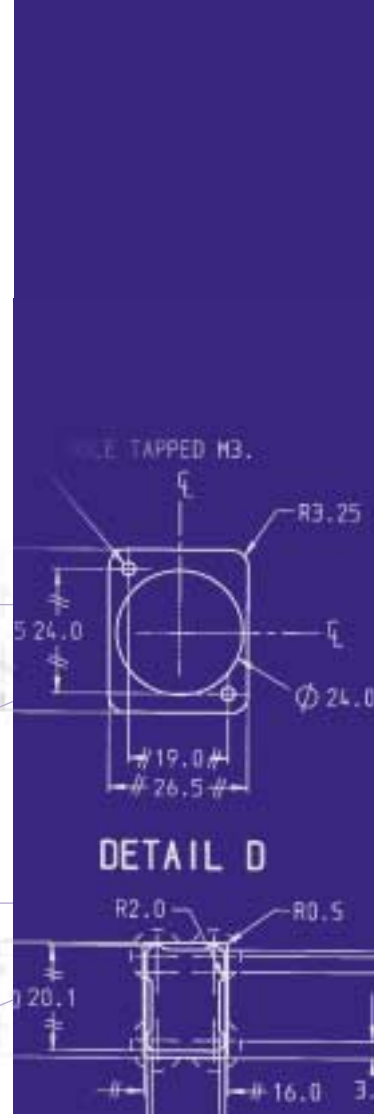
- プログラムした中に、新しくステップを入りたい位置を選びます。
- **0** を押し続けると、ディスプレイは右のように変わります。



選んだステップの直前に、新しいステップが挿入されます。

プログラムの保存

- **INDEX** ▶ を押し続けると、ディスプレイが図のようになります。
- **DISPLAY** を押すとプログラムが保存され、通常作動モードに戻ります。



トラックの除外 (Del)

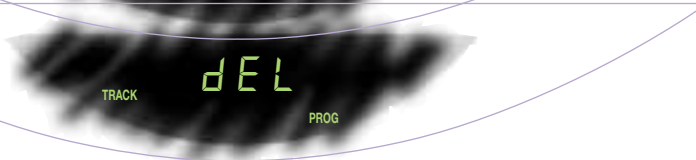
このプログラムモードでは、CD中の1つまたはそれ以上のトラックをとばして演奏できるようにします。

Delプログラムの作成

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。



- ディスプレイが右のようになるまで、**INDEX ▶** または **◀** を押します。



- **DISPLAY** を押します。

ディスプレイは、右のようになります。



- **▶▶** または **◀◀** キーで、最初に除外するトラックを選びます。数字キーで直接トラック番号を入力することもできます。

もし、トラック3を除外したければ、

- **▶▶** キーを押し続け、右のように3を表示させます。



- **INDEX ▶** を押し、次に除去する番号を入力します。

- 同様に、除外したいトラックすべてを指定します。



プログラムの保存

- **INDEX ▶** を押し続けると、ディスプレイが図のようになります。
- **DISPLAY** を押すとプログラムが保存され、通常作動モードに戻ります。



ランダムプレイ (Rand)

このモードにすると、そのCDをかけるたびに、異なる順序でトラックが演奏されます。

ランダムプレイの選択

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。
- ディスプレイが右のようになるまで、**INDEX ▶** または **◀** を押します。
- **DISPLAY** を押してランダムプレイを選択します。



プログラムのリピート

Add / Del / Rand などのプログラムを、**STOP** を押すまで繰り返し演奏します。

プログラムのリピート演奏

- プログラムの作成中または編集集中に、**REPEAT** を押します。

CD全体のリピート演奏

- ステップなしで **Add** または **Del** プログラムを作成し、**REPEAT** オプションを指定します。

プログラムのON / OFF

1枚のCDについてプログラムを作成すると、そのCDを入れるたびに、自動的にプログラムされた演奏を行います。その際、**PROG** インジケーターが点灯します。

プログラムをOFFにする方法

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。

その後すぐ、ディスプレイの表示が図のようにOFFとなります。

- 再度 **DISPLAY** を押すと、プログラムがOFFとなります。

PROG インジケーターが消えます。

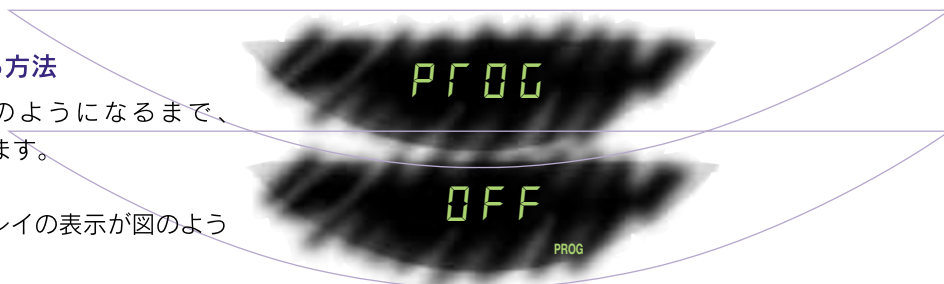
プログラムをONにする方法

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。

その後すぐ、ディスプレイの表示がONとなります。

- 再度 **DISPLAY** を押すと、プログラムがONとなります。

PROG インジケーターが点灯します。



プログラムを通常OFFとしておき、指示した場合にはのみONとなるようにユーザー・オプションを変更することも可能です。24ページの「ユーザー・オプション」を参照してください。



プログラムの編集

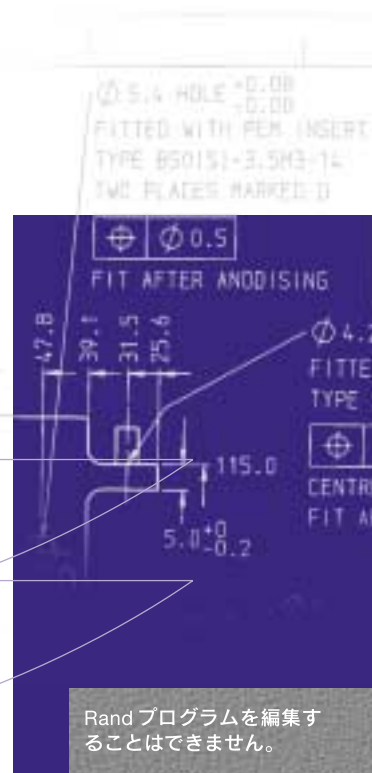
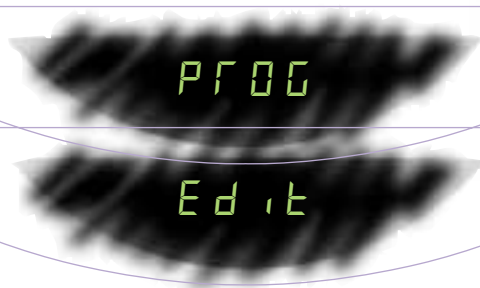
CDについてプログラムを作成し終ると、次のようなオプションを選ぶことができます。

オプション	内容
ON / OFF	プログラムをONまたはOFFにする
Edit	プログラムを編集する
Clr	プログラムをクリアする

プログラムの作成中、編集時に、**PLAY** / **PAUSE** / **STOP**のいずれかを押しすと、内容を変更することなく、作業を終了することができます。

プログラム編集の方法

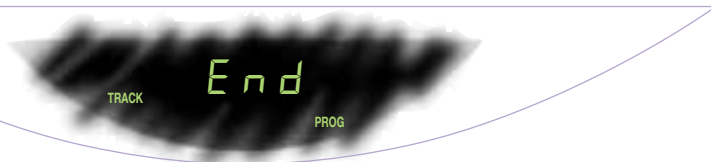
- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY**を押し続けます。
- ディスプレイが右のようになるまで、**INDEX**▶または◀を押しします。
- **DISPLAY**を押しします。



- **INDEX** ▶ または ◀ キーで、プログラムを通じてステップ移動します。また **REPEAT** キーで、リピートモードのON/OFFを切替えます。

- 変更したいプログラムステップに、編集/挿入/削除などの作業を行います。

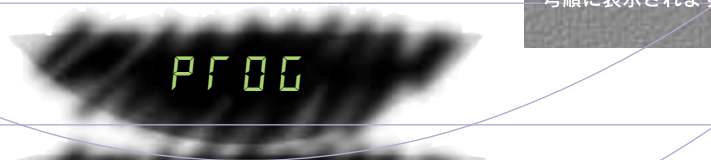
- ディスプレイの表示が右のようになるまで、**INDEX** ▶ を押します。



- **DISPLAY** を押すとプログラムが保存され、通常作動モードに戻ります。

プログラムをクリアするには

- ディスプレイが図のようになるまで、**DISPLAY** を押し続けます。



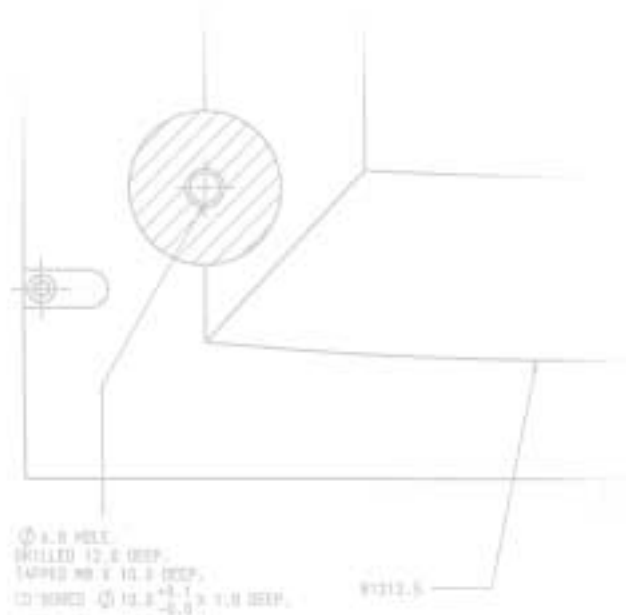
- ディスプレイが右のようになるまで、**INDEX** ▶ または ◀ を押します。



- **DISPLAY** を押して、プログラムを削除します。

これで、セットされているCDのプログラムは解除されます。

Delプログラムを編集している場合、トラックは番号順に表示されます。



ユーザー・オプション

この章には、ユーザー・オプションの活用方法が説明されています。
ユーザー・オプションの選択によって、SONDEK CD12の機能を
よりパーソナルに設定することができます。

ユーザー・オプションは、最初は一般的に好まれる基本値にセットされていますが、以下の指示に従えば、よりパーソナルな設定に変更することが可能です。

ユーザー・オプションの変更方法

- バックパネルのスイッチで、SONDEK CD12の電源を切ります。
- **◀◀** キーを押したままの状態、電源を入れます。
- そのままキーを押し続けて、右の
ようなディスプレイを出します。

左2桁はユーザー・オプション番号です。右端の文字は現行のセッティングを示します。



特定のユーザー・オプションを選ぶには、

- **◀◀** キーを押します。



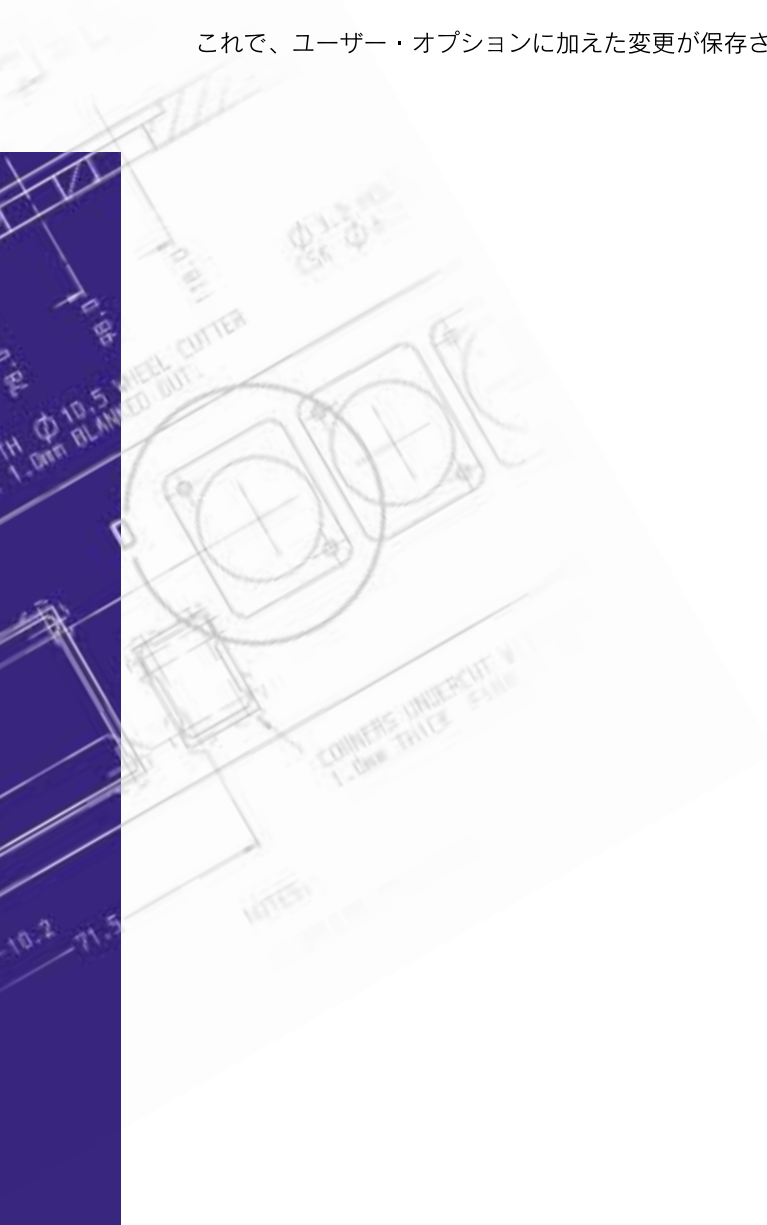
現在表示されているユーザー・オプションを変えるには、

- ▶▶ キーを押します。

ユーザー・オプション・モードを終了するには、

- CD プレイヤーの他のキーいずれかを押します。

これで、ユーザー・オプションに加えた変更が保存されます。



ユーザー・オプション定義

以下の各表には、変更可能なユーザー・オプションの内容が示されています。*印のあるものが、各オプションの初期設定状態です。

U1ーディスプレイ・スリープ・モード

オプション 内容

0	ディスプレイがスリープ状態に戻る
1*	ディスプレイはONのまま

U2ー赤外センサー (IR) モード

オプション IR/プロセッサ IR/リモートアウト リモートイン/リモートアウト

0	無効	OFF	OFF
1	有効	OFF	OFF
2	無効	ON	OFF
3	有効	ON	OFF
4	無効	OFF	ON
5	有効	OFF	ON
6	無効	ON	ON
7*	有効	ON	ON

U3ーオートプログラム・モード

オプション 内容

0	プログラムされたCDが認識されても、プログラムモードはOFF
1*	プログラムされたCDを認識すれば、プログラムモードON

U4ーパワーアップ・モード

オプション 内容

0	電源を入れると、前回の状態に戻る
1*	電源を入れると、停止状態で待つ
2	電源を入れると、演奏を開始

U5ーCDセット時のオートプレイ

オプション 内容

0	CDをセットする以前の状態に戻る
1	CDをセットすると、停止状態で待つ
2*	CDをセットすると、演奏を開始

U6ーダイレクトタイム・ディスプレイ・モード

オプション 内容

0*	ハンドセットの番号キーが常にトラック番号を選ぶ
1	ディスプレイ内容に応じて、番号キーがトラックまたは時間を入力する

U7ースマートドロワー・モード

オプション 内容

0*	ドロワーにプレイ/停止/開/閉の機能をもたせる
1	ドロワーにプレイ/スキップ/停止/開/閉の機能をもたせる



技術仕様

全般

寸法	320mm x 350mm x 80mm (幅 x 奥行 x 脚部を含めた高さ)
重量	12kg
消費電力	20W
電源ヒューズ	100V～120V：T800mA サージング防止 200V～240V：T800mA サージング防止 注記：必ずバックパネルで適正な電圧を指定してください。
電源の許容差	公称値±10%、パフォーマンス変化なし

駆動

Linn CDエンジン

コンバージョン技術

HDCD® 使用24ビット8倍オーバーサンプリング、チャンネルごとのデュアル・デジタル/アナログ・コンバージョン

コントロール

CD シンクリンク

マスター/スレーブ入力接続

コネクタ 高質 RCA フォノ

レベル 0～10V DC

RS232-Cソフトウェア・アップロード・ポート

コネクタ RJ-11
オーディオ回路から電氣的に完全絶縁。

リモート入力

電流ループ・リモートコントロール入力
コネクタ 高質RCAフォノ
感度 5mAディファレンシャル信号電流

リモート出力

電流ループ・リモートコントロール出力
コネクタ 高質RCAフォノ
レベル 6mA信号電流
Linn KNEKTシステムとのインターフェイスへの出力は、光絶縁カレントループ出力。

出力

アンバランス・ステレオ・アナログ・オーディオ出力2対

コネクタ 高質RCAフォノ
出力レベル 2V rms (ピークコード)
出力インピーダンス 200 Ω
最小負荷 1k Ω

バランス (ディファレンシャル) ステレオ・アナログ・オーディオ出力1対

コネクタ 1チャンネルにつき3ピンXLR (ピン1-シールド、ピン2-ホット、ピン3-コールド)
出力レベル ホット/コールド間で4V rms (ピークコード)、ホット/シールド間およびコールド/シールド間で2V rms
出力インピーダンス 各300 Ω (ホット、コールド)
最小負荷 600 Ω

SPDIF デジタル・オーディオ光学出力

コネクタ 75 Ω 金メッキ BNC
レベル 500mV pk-pk (75 Ω)

AES/EBU デジタル・オーディオ電気出力

コネクタ 3ピン XLR (ピン1ーシールド、ピン2ーホット、ピン3ーコールド)
レベル 2V pk-pk (110 Ω)

ST® デジタル・オーディオ光学出力

プロフェッショナルグレード光ファイバー・コネクタ

TOSLINK™ デジタル・オーディオ光学出力

コンシューマーグレード光ファイバー・コネクタ、EIAJ CP-340仕様準拠

デジタルフィルターと HDCD® デコーディング

Linn SONDEK CD12 はデジタルフィルターを装備、デコーディング基準が「レッドブック」のCDについても、HDCD エンコードのCDについても、安定した高性能オーディオ能力を提供します。

HDCD® エンコードのCDを検出すると、SONDEK CD12 のフロントパネルの HDCD インジケータが点灯します。

索引

A-B リピート	14	TRACK ディスプレイ	10
Add プログラム	17	安全上の注意	iii
ステップの削除	18	演奏	
ステップの挿入	18	CDの演奏	4, 9
プログラムの保存	18	指定のトラックからの演奏	11
編集	18		
CD		技術仕様	29
入れかた	4, 8	スイッチ ON	4, 7
演奏	4, 9	タイムポジションの入力	13
サーチ	12	タッチコントロール	3
停止	5, 10	著作権	v
取出しかた	5-6, 9	デジタル出力	3
部分的なりリピート	14	デジタルフィルター	31
ポーズ	9	ディスクの入れかた	4, 8
リピート	14, 21	ディスクのサーチ	12
Del プログラム	19	ディスクの停止	5, 10
プログラムの保存	20	ディスクの取出しかた	5-6, 9
DIGITAL ディスプレイ	3	ディスプレイ	10
E ディスプレイ	11	DIGITAL	3
HDCD ディスプレイ	5, 31	HDCD	5, 31
HDCD デコーディング	31	REMAIN TRACK TIME	10
HiFi リモートコントロールの使用	7	REPEAT	14
REMAIN TRACK TIME ディスプレイ	10	TOTAL REMAIN TIME	10
REPEAT ディスプレイ	14	TOTAL TIME	10
SONDEK LP12	2	TRACK	10
TOTAL REMAIN TIME ディスプレイ	10		
TOTAL TIME ディスプレイ	10		
TRACK TIME ディスプレイ	10		

TRACK TIME	10
トラック	
除外	19
選択	6, 17
直接選択	11
トラックからの演奏	11
トラック指定のプログラミング	17
トラックの除外	19
トラックの選択	6
ドロワー	
開けかた	4, 8
閉じかた	5, 8
ドロワーの閉じかた	5, 8
はじめに	2
著作権と商標	v
プログラミングのオプション	16
Add	17
Del	19

プログラム	
ON / OFF の切替え	21
クリア	23
編集	22
リピート	20
ポーズ (CD の)	9
ポーズからの演奏再開	9
ポーズからの再開	9
ユーザー・オプション	26
変更のしかた	24
ランダムプレイ	20
リピート	
CD	14, 21
CD の一部	14
プログラム	20
リピートのキャンセル	15
リン・プロダクツ社の製品哲学	2

